

小型犬の膝蓋骨内方脱臼の外科治療

大腿骨骨切り術 1DAY ドライラボ

東京開催

2026 2/23

10:00~16:00
(月・祝)駐健保会館 4F 大会議室
(東京都港区芝3-41-8)
 事前学習動画で実習へ臨もう！

実習 & 講義の内容

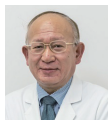
実習

1. aLDFA の計測および CORA の決定 / 2. 大腿骨の内反変形に対する遠位大腿骨骨切り術
3. 顕著な Patella alta を伴う大腿骨に対する分節状大腿骨骨切り術

講義

1. aLDFA および QML/FL の計測 / 2. 遠位大腿骨骨切り術 (DFO) : 適応、術法、合併症
3. 分節状大腿骨骨切り術 (SFO) : 適応、術法、合併症

講師



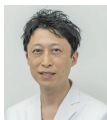
原 康 先生
日本獣医生命科学大学
獣医外科学研究室 教授



藤田 幸弘 先生
麻布大学獣医学部
小動物外科学研究室 教授



原田 恭治 先生
日本獣医生命科学大学
獣医外科学研究室 准教授



神野 信夫 先生
日本獣医生命科学大学
獣医外科学研究室 講師

定員
限定 **18** 名

開催にあたって

小動物臨床で小型犬に好発する膝蓋骨内方脱臼 (Medial patellar luxation: MPL) の臨床型は一般的に 3 タイプ、すなわち、1 骨格形成期初期に大腿骨および脛骨に重度の骨格変形を伴い発症するタイプ、2 骨格形成期中期から壮齢期にかけて大腿骨および脛骨に軽度の骨格変形を伴い発症するタイプ、そして 3 壮齢期から高齢期にかけて骨関節炎および前十字靭帯損傷を伴うタイプに分類されます。その中で、本実習では「Category-1」の MPL 罹患膝関節に対して再建手術を行う場合に必要となることの多い、大腿骨の矯正骨切り術、すなわち、角度変形の矯正を目的とした大腿骨遠位骨切り術 (DFO)、そして大腿骨長の矯正を目的とした分節状大腿骨骨切り術 (SFO) について、その適応、術式にフォーカスします。MPL の外科治療に関心を持ち、これから真剣に実践することを考えている先生方には是非ともこの機会に学んでいただきたいと考えています。

📍 来場受講料  テキスト付き

会員 獣医師 **49,000 円** (税込53,900円)

※法人会員施設は勤務医も割引対象

一般 獣医師 **72,000 円** (税込79,200円)

上記に
実習材料費 **87,000 円** (税込95,700円)

 事前学習動画付き

 テキスト付き (当日配布)

 膝蓋骨内方脱臼 (MPL) 症例骨モデル

 昼食付き

実習で用いる器具類は
ご用意いたします

※ 実習で使用した材料、骨モデルは
終了後にお持ち帰りいただけます。
※ 器具は貸し出しとなります。

お申込み・詳細
はこちら

